

神のみこころ

(金曜日——午前の第一の部)

メッセージ 1

宇宙における神のみこころの奥義とは、
究極的に、キリストのからだとしての召会を通して、
キリストの中で、すべてのものをかしらにつり上げることである
聖書：エペソ 1:5, 9-11. 3:11. 5:17. コロサイ 1:9. 啓 4:11. 21:1-2, 9-11

- I. わたしたちは、主のみこころが何であるかを理解する必要があります——エペソ 5:17.
コロサイ 1:9。
- II. 神のみこころとは、神が欲すること、また神が成就しようとすることです——エペソ
1:5, 9, 11 :
- A. 神には永遠のみこころがあり、それは彼の永遠の定められた御旨の源です—— 11
節. 3:11。
- B. 神は永遠であって、始まりや終わりががないので、彼のみこころも永遠です。このみ
こころは宇宙の起源の中心にあります——啓 4:11。
- C. 神がご自身のみこころのために万物を創造したのは、ご自身の定められた御旨を完
成し、成就するためです——エペソ 3:11。
- D. 神のみこころは、キリストに集中しており、キリストが万物のうちで第一位となる
ことです。キリストは神の永遠のみこころの中ですべてです——コロサイ 1:15-18.
3:4, 10-11。
- E. 神はキリストと召会を持つことを欲しています。神のみこころは、キリストのから
だとしての召会を得ることです——エペソ 5:32. 1:9, 22-23. 2:21-22. 4:16。
- F. 神はキリストの中でその霊として、今やわたしたちの内側で働いており、彼の永遠
のみこころを完成し、新エルサレムを持ちます。新エルサレムは小羊の妻であり、
神の栄光で満たされ、新天新地において彼を永遠に表現します——ピリピ 2:13. エ
ペソ 3:14-21. 啓 21:1-2, 9-11。
- III. 神はみこころの大いなる喜びにしたがって、わたしたちを子たる身分へとあらかじめ
決めました——エペソ 1:5 :
- A. 神にはみこころがあり、その中には彼の大きい喜びがあります。神の大きい喜びは、
彼のみこころから出てきたものであり、彼のみこころの中に具体化されてい
ます。ですから、彼のみこころが最初に来るのです—— 5, 9, 11 節。
- B. 神の大きい喜びは、神を幸いにします。それは神の心の願いです。生きた、愛す
る、定められた御旨を持つ神は確かに、心の願いを持っています—— 5 節。
- C. 神は彼の喜びにしたがって、彼の心の願いにしたがって、わたしたちを彼の子たち
となるようにあらかじめ決めました—— 5 節 :
1. 神は世の基が置かれる前から、わたしたちを聖くなるようにと選びました。聖く
されること (神がご自身をわたしたちの中へと分与し、それから彼の性質をわた
したちとミングリングすることを通して、神によって聖別されること) は、過程、
手続きです—— 4 節。

2. 神の子たちになることが目的、目標であり、それはわたしたちが神の御子に結合され、神の長子のかたちに同形化されるという事柄です。それは、わたしたちの全存在が神によって「息子化される」ためです—— 5 節. ローマ 8:29. コロサイ 1:15。

IV. わたしたちは、「みこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行なう方の定められた御旨により、あらかじめ定められていたのです」——エペソ 1:11 :

- A. 神のみこころは神の意図であり、神の熟慮は、彼が彼のみこころ、彼の意図を完成する方法を考えることです。
- B. 神のみこころにしたがって、神聖な三一が世の基が置かれる前に会議を持って、熟慮し、決定しました。それが神の決定されたみこころです—— I ペテロ 1:20. 啓 13:8. エペソ 1:11。

V. 神のみこころは奥義として神の中に隠されていたので、エペソ第 1 章 9 節は、「みこころの奥義」について語っています :

- A. 永遠において神にはみこころがありましたが、このみこころは彼の中に隠されていました。ですから、それは奥義でした—— 9 節. 3:3-5, 9。
- B. 神は彼の心の喜びの中で、また彼の知恵と思慮の中で、この隠された奥義をわたしたちに知らせてくださいました。それは、キリストにある神の啓示を通して、すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、昇天を通してです—— 1:9. ヨハネ 1:14. ローマ 1:3-4. 4:25. 8:3, 34。

VI. 究極的に、宇宙における神のみこころは、キリストのからだとしての召会を通して、キリストの中で、すべてのものをかしらにつり上げることです——エペソ 1:10, 22-23. 啓 21:1-2 :

- A. 神の永遠の意図は、時代の満了時のエコノミーにおいて、キリストの中で、すべてのものをかしらにつり上げることです。このキリストはすでに宇宙的なかしらに定められていました——エペソ 1:10, 22。
- B. すべての時代における神の経綸を通して、すべてのものはキリストの中で、新天新地においてかしらにつり上げられます。これは神の永遠の行政とエコノミーになります——啓 21:1-2。
- C. サタンの目標は、神の被造物を腐敗させ、混乱を引き起こすことです——ローマ 8:19-23 :
 1. 宇宙全体は崩壊の堆積であり、それは、サタンが自分自身を死の要因として、神の被造物の中へと注入することによって引き起こされました——ヘブル 2:14. ローマ 8:20-21。
 2. 神は働いて彼の被造物を束縛から解放し、自由へともたらしつつあります。それはキリストの中で、すべてのものをかしらにつり上げることによってです——エペソ 1:22, 10。
 3. わたしたちはみな崩壊の堆積から救い出され、キリストの中でかしらにつり上げられる必要があります——コロサイ 1:12-13。
 4. 神の救いは、わたしたちを墮落した、罪深い状態から救うことであるだけでなく、また崩壊の堆積からも救うことでもあります—— 12-13 節. エペソ 2:1-8, 21-22。

D. 神はキリストのからだとしての召会を通して、キリストの中で、すべてのものをかしらにつり上げることによって、万物をキリストの下に服従させます—— I コリント 15:20-28 :

1. 神は彼の選ばれた者たちをかしらにつり上げて、キリストのからだとし、キリストをかしらとしつつあります——エペソ 1:4, 22-23 :

- a. キリストの頭首権は召会に伝達されつつあります。これはある意味で、わたしたちが万物に対するキリストの頭首権にあずかることができるということの意味します。
- b. 召会は何の下にもなく、ただキリストご自身の下にあります。わたしたちが他のあらゆるものの上にあるのは、わたしたちが万物の上にいる方からだからです。
- c. キリストの中ですべてのものをかしらにつり上げることの第一段階は、神が彼の選ばれた者たち、彼の子たちを、宇宙的な崩壊から連れ出して、キリストの頭首権の下に置くことです—— 22 節. 4:15. 5:23. コロサイ 1:18. 2:10, 19。

2. 召会が率先してキリストの中でかしらにつり上げられるとき、神は道を得てすべてのものをかしらにつり上げます——エペソ 1:22-23, 10 :

- a. 召会は、神に用いられて、神の問題を解決し、神の定められた御旨を完成する器です。神の定められた御旨とは、ご自身を人とミングリングすることによって、人を通してご自身を現すことです—— 3:9-11。
- b. 最終的に、キリストをかしらとするからだは、万物の上の宇宙的なかしらとなります—— 1:22-23。

3. 召会生活は、かしらにつり上げられる生活です—— 4:15. I コリント 11:3 :

- a. 正常な召会生活において、わたしたちはキリストの中でかしらにつり上げられつつあります。
- b. もしわたしたちが、キリストの中でかしらにつり上げられることが何であるかを知らないなら、召会を知ることはできません。
- c. 召会生活において、わたしたちは率先してキリストの中でかしらにつり上げられつつあります。このために、わたしたちは命において成長する必要があります——エペソ 4:15。
- d. わたしたちは神聖な分与を通してかしらにつり上げられます—— I テモテ 1:4, 3:15. エペソ 1:1. 3:2, 9, 16-17。
- e. 神は一つの行政を通してご自身を、彼の選ばれ、贖われた者たちの中へと造り込んでいます。この行政は、甘い分与、親密な執事職、心地よい家庭の案配です—— 1:10. 3:2. I テモテ 1:4. 3:15。

E. 召会生活においてかしらにつり上げることは、命と光によります——ヨハネ 1:4, 8:12 :

- 1. 神の回復の道は、キリストがサタンに相對すること、命が死に相對すること、光が暗やみに相對すること、秩序が混乱に相對することです。
- 2. 崩壊は死の要因から来ます。かしらにつり上げることは命の要因から来ます——エゼキエル 37:4-10。

3. 神が彼の被造物の間で一を回復する道は、ご自身を命としてわたしたちの中へと分け与えることです——ローマ 8:6, 10-11, 19-21。
4. 実際的な方法で崩壊の堆積から救い出されるために、わたしたちは命において成長する必要があります。わたしたちは命において成長すればするほど、ますますかしらにつり上げられ、ますます宇宙的な崩壊から救い出されます——エペソ 4:15. コロサイ 2:19。
5. 神が命としてわたしたちの中へと入って来るとき、命の光がわたしたちの内側で輝きます——ヨハネ 1:4. エペソ 5:8-9 :
 - a. この命は死を飲み尽くし、この光は暗やみを追い払います——ヨハネ 8:12。
 - b. わたしたちは命の中に、また光の下にいるなら、混乱から救い出され、秩序、調和、一の中へともたらされます。
- F. 新エルサレムを中心とする新天新地において、すべてのものはキリストの中でかしらにつり上げられます。これはエペソ第 1 章 10 節の完全な成就です——啓 21:2-3, 23-25. 22:1-2 前半 :
 1. 新エルサレムにおいて、すべてのものは命で浸透され、光の下にあります—— 1 節. 21:23。
 2. わたしたちは啓示録第 21 章で、かしらを見て、かしらの周りにあるからだを見て、都の光の中を歩くすべての諸国民を見ます。全宇宙は、透明な都を通して照り輝く光の中で、かしらにつり上げられます—— 18 節。